

④ 神田警察通り沿道拡大協議会の設置について

これまで沿道に住む私たちは、神田警察通りの将来プランはおろか、道路整備計画について、自ら知る術がありませんでした。自宅前の街路樹が伐られるというショッキングな計画を聞いたのは、昨年12月で、1月頭には街路樹に「撤去通知」が貼られたのです。非常に歯がゆい思いをしています。

沿道の錦町には苦い経験があります。約30年前の保健所建替え時、日照権などの問題があり、住民の意見が割れました。しかし区は今回同様「早く工事をしたい」「既に遅れている」として強引に建て替えを進めました。その結果、現在までもご近所間に根強いしこりが残っています。当時もう少し時間をかけ話し合う段階があったら分断は避けられた、という経験です。

再び同じ悲劇が起こらないために、住民を分断するのではなく、住民同士が解決策を模索するような場が必要です。より良い街づくりにつながるはずです。

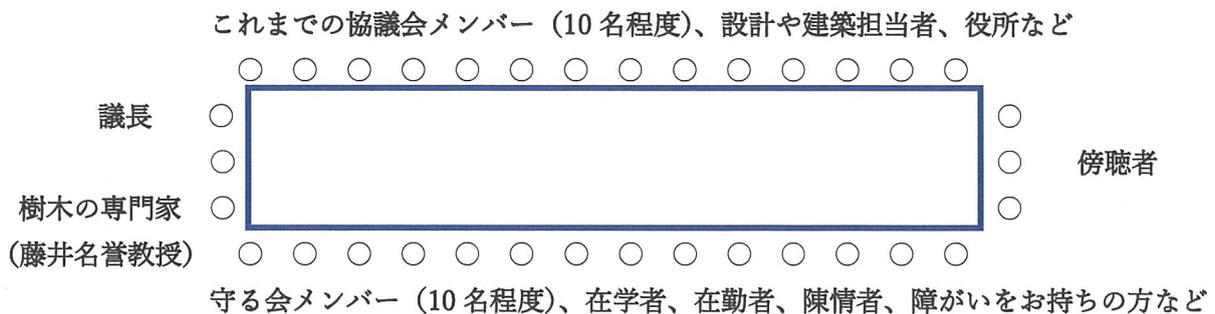
ついでには、明大通りの先行例から学びたいと思います。明大通りでは2020年1月より拡大協議会が設けられ、街路樹の問題を解決するだけでなく、共に学び発展させてきました。結果的に日本初の欧米並み植栽基盤もできることになりました。そのノウハウを生かし、拡大協議会の開催をお願いします。

区のHP（明大通りバリアフリー歩行空間整備事業について）にはこうあります。

「明大通り沿道協議会」では、学識経験者や沿道の町会の代表者、学校および企業の代表者、陳情の代表者の方々等に参加いただき、計画についての意見交換を行い、明大通りの将来あるべき姿について議論し、2021年9月3日の第9回協議会をもって合意に至りました。今後、協議会でまとまった整備計画をもとに誰からも愛されるような道づくりを進めてまいります。

神田でも、誰からも愛されるような道づくりをするため、拡大協議会を設けてください。

拡大協議会のイメージ



（協議会の原則） 人数の大枠を決め、メンバーは入れ替わり自由として集まる。
なるべくオープンな形で行う。傍聴者にも発言の機会を設ける。
HPなどで議論を公開し、常に情報を共有する。
設計者に模型などをお願いし、皆がイメージしやすくする。